

# 稲田の子

令和5年

12月21日 発行

文責 校長 鈴木 宏和



時を守り 場を清め 礼を正し

物事に向き合う 稲田っ子

## 2学期終了

### 教育活動へのご協力に感謝します！

各学期の始業式・終業式の校長の話では、繰り返し今年度の重点について、子どもたちに話をします。

稲田小学校の今年度の重点は、「時を守り、場を清め、礼を正し、物事に向き合う稲田っ子」です。

毎回終業式には、この重点についての反省をします。

#### 時を守る

- ①遅刻をせずに登校
- ②チャイムで始まりチャイムで終わる

#### 場を清める

- ①靴箱に靴を揃えて置く
- ②教室の机を揃える

#### 礼を正す

- ①自分からするあいさつ
- ②廊下を正しく歩く

#### 物事に向き合う

- ①自分で考え行動を決める
- ②あきらめずに挑戦する

2学期終業式の校長の話より

「皆さんは、この3つの事をしっかりとできるようになりましたね。時を守るについては、皆さん遅刻せずに登校できる子が多くなり、チャイムを守って生活できるようになりました。あいさつも元気してくれる子たちも本当に増えました。靴もきれいにしまえています。」

「ただ、いつも遅刻することが当たり前になっていた、『おはようございます』とあいさつをされても、会釈を返すだけだったりすることもあるのが少し残念です。3学期がんばってほしいところです。」

「今日は、冬道の交通安全についてのお話をします。～中略～誰も交通事故に遭ったりせずにもた、3学期みなさんに、元気に会えることを楽しみにしています。よい冬休みを迎えて下さい。」

保護者・地域の皆様におかれましては、今学期も学校の教育活動に多大なるご協力をいただきましたこと、大変感謝申し上げます。良いお年をお迎え下さい。

## 冬休み中の学校への連絡について

冬休み中の学校への連絡は、平日の8時30分から16時の間をお願いいたします。

また、学校閉庁日は、12月29日～1月3日の6日間となります。

交通事故に遭った等、緊急の連絡につきましては、学校閉庁日期間や土日は市役所(65-4111)に連絡をお願いいたします。

## 冬休み中 交通事故に要注意！！

朝の交通安全指導時も、歩行者信号が青になっているにも関わらず、信号の変わり目に突っ込んできた自動車が目の前を横切るといことは、1度や2度ではありません。この季節は、雪山で見通しが悪くなる上に、自動車は止まりにくくもなります。いつも以上に交通安全に気をつける必要があることをご家庭でもご指導ください。

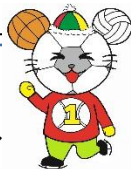
## スケートリンクの見通しについて

週末に雪が降りましたが、まだスケートリンクの造成は始まっていません。完成までは時間がかかりますが、もし、冬休み中に滑られるようになった場合は、楽メにてお知らせいたします。その際は、リンクを使用する際の約束を守り、ご活用ください。

なお、完成した場合は、高学年に割り当てられているリンクの清掃当番も開始されますので、ご協力を願います。

## コラム

### ～朝の見守り中の嬉しい出来事～



①毎朝、ふれあいパトロールさんと同じジャンパーに身を包み通学路を歩いています。いつも共栄通の東側の歩道を北上していくのですが、道路の反対側(西側の歩道)を歩いている子ども、大きな声で「おはようございまーす！」と手を振ってくれます。

②5年生の男の子が、朝、私とすれ違うときに、「校長先生、風でゴミステーションからゴミが飛ばされていたから、何回も拾ってネットからぶせてきたんだよ。」と声をかけてくれました。きっとたくさんゴミが散らかっていたのでしょう。進んでみんなのために良い行動とれる勇気と優しさに関心しました。

③ふれあいパトロールの方には頭が下がるばかりです。雪が降って滑る日には、横断歩道や滑りやすい車道に砂をまいて、子どもたちの安全を確保していただいています。また、子どもたちの名前を覚えて下さる方もいらっしゃる、その子その子のがんばりを見取って温かな声かけをいただいています。本当に感謝いたします。

校長 鈴木 宏和

今年度も、全国学力・学習状況調査の全国的な分析結果や傾向等は、新聞報道等で公表されました。  
 本校児童の学力（国・算）と質問紙について成果や課題をお伝えいたします。

<国語について>

△全体的な正答率は全国平均を下回っています。  
 ○読むことの領域や「情報の扱い方に関する事項」の問題で全国平均を上回っています。

<今後に向けて>

□これまで学校全体で継続してきた「条件に合わせて文章を書く」取組には一定の成果が表れています。今後は、伝えたいこと聞きたいことの中心を意識しながら、聞いたり話したりできるように指導をしていきます。

<算数について>

△全体的な正答率は全国より大きく下回っています。  
 ○伴って変わる2つの数量関係について答える問題が全国平均を大きく上回っています。  
 △理由や求め方を、言葉や式を用いて説明する問題に課題が見られます。

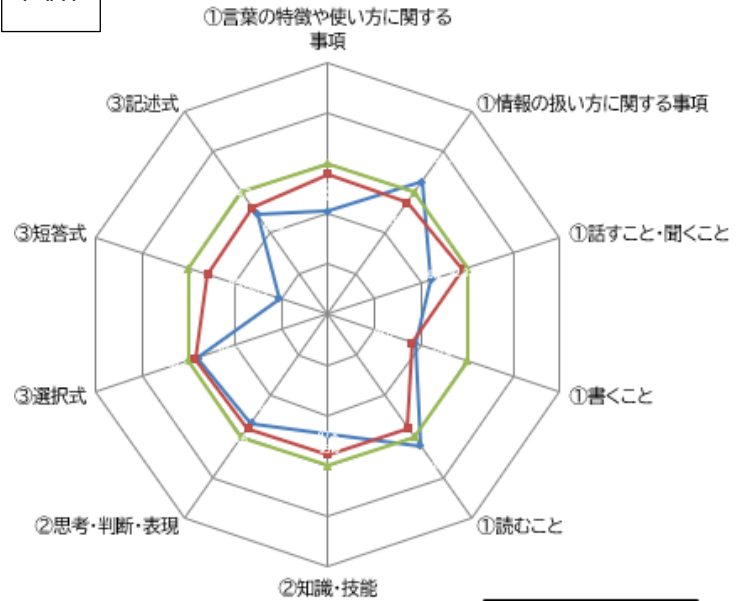
<今後に向けて>

□実生活と結びつけた数学的思考力を高める指導の充実を図ります。理由や求め方を説明、交流する場面を多く日常の授業に取り入れていきます。

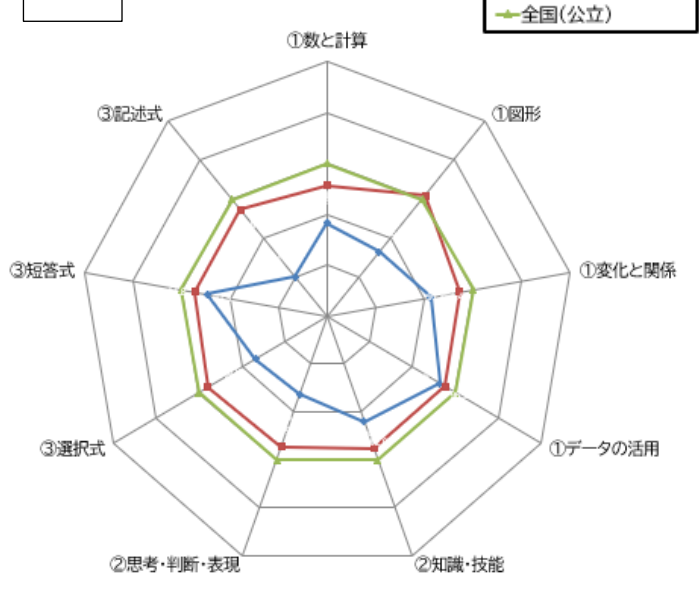
<児童質問紙から>

- ・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答する児童が全国平均を上回っています。
- 特別の教科道徳や学習活動全般を通して、一人一人の人権を大切にされた指導を行ってきたことの成果、また、家庭の教育力の表れと考えています。
- ・「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた子の割合が全国値を大きく下回っています。
- 自己肯定感や自己有用感を高め、自分に自信をもてるように指導、働きかけを継続します。
- ・ 1日1時間以上勉強する子が全国平均より少ないです。
- 保護者との連携協力を密にして、学校からの宿題の他に、自分で課題意識をもって取り組める家庭学習についても定着させる働きかけをしていきます。

国語



算数



がんばる稲田の子



第25 丈夫カップ 北海道空手道選手権大会  
 優勝 2年 大岸 蒼真



十勝リーグフットサル2023 U-10  
 優勝 稲田サッカー少年団